

Golf Course Management & Maintenance Magazine

# ゴルフ場セミナー

令和6年3月1日発行  
(毎月1回1日)  
第57巻第3号

3月号

支配人の意識調査2024・前編  
複数メリットを生む自治体との連携  
組織活性化に繋がる「朝礼」の極意



ゴルフダイジェスト社

ゴルフ場セミナー

2024年 3

現場トップの美像 ● 支配人の意識調査2024

ゴルフダイジェスト社





トーナメント開催前に、プロや元プロなどが地元の小学生にスナックゴルフ教室を実施している

ただだけでなく、高齢者の方も楽しめる企画・イベントを実施していきたいとの思いがあり、同社が所有する麻雀のMリーグのチーム（セガサ

幌エリアに直行するのではなく、千歳市に寄ってもらえるような取り組みを千歳市と一緒に実施していきたいです」（太田社長）

ミーフェニックス）の所属選手にも協力してもらい、地域住民の交流や認知症防止などに、貢献できればと考えているという。

「麻雀はゴルフと同じで、老若男女が楽しめる娯楽（スポーツ）なので、実現させたいです。また、市外の人や外国人観光客に向けても、新千歳空港に到着後、札幌

栃木県 鹿沼グループ

## 信頼関係を築いて企業パートナーになることで地元民に認知され、従業員の帰属意識向上も

鹿沼グループ（※1）の場合、きっかけは東日本大震災だった。2011年3月の震災後数カ月経って、地元鹿沼市の経済部長が来訪した。人も物も大きなダメージを受けている

状況を少しでも元気づけたいので協力してほしいとのことだった。

「鹿沼市には13コースあって、広大なゴルフ場ならば何かできるのではないかとという話でした。特に、鹿沼グ

ループは45日のゴルフ場が2コースあるので、盛り上げに協力できないかとの連携施策の提案があり、活動を開始したのが最初です」

と、現在も自治体との連携の先頭に立つ、鹿沼グループ営業本部長の亀和幹広氏は当時を振り返る。

そして、翌12年8月のお盆前に、『鹿沼市ジュニアゴルフ大会』を鹿沼カントリー倶楽部で開催した。さらに翌年8月後半には、『こるふあみふえすた』という小中学生とその家族を対象としたノンゴルフイベントを開催した。

「乗用車でコースを巡るとか、パターゴルフ、ダンス、スイカ割り、工作教室など1日楽しめるいろいろなアトラクションを用意しました。地元のボランティアとともに、工作教室などは入社1、2年目の若手スタッフが活躍してくれました」（亀和本部長）

その後、ジュニア大会は23年まで12回開催され、こるふあみふえすたは6年連続で開催し、20年のコロナ禍での中止以降は、花火大会に移行して継続中だ。

その花火大会は、コロナ禍の20年9月、鹿沼市民や医療従事者などに

向けたチャリティイベントとして鹿沼グループ単独で開催した。その際に、招待されていた鹿沼市長や副市長から、鹿沼市のもっとも大きなイベントだった鹿沼さつき祭りのオープニングイベントにと打診され、2回目からは5月に鹿沼市の後援イベントとして開催されている。

こうしたいくつものイベントが評価され、22年に「いちご市KANUMASAサポーターズ」に認定された。この認定式は5月の花火大会の式典で市長から直接行われたという。

「鹿沼市の特産がイチゴなので、いちご市と言っています。いわゆる市の企業パートナーに選ばれたわけです。これによって、さらに鹿沼市との距離は縮まりましたし、鹿沼グループの事業も市役所に広く認知され、イベントも広報紙やHPに載せてもらったり、その関係で地元新聞の取材も多く受けるようになりました」（亀和本部長）

### 毎月役所に顔を出す 集客営業活動と同じ

企業パートナーは20社ほどあるとのことだが、まめに活動しているところばかりではなく、毎年複数の恒

※1 鹿沼市内に鹿沼カントリー倶楽部と鹿沼72カントリークラブのともに45Hの大規模コースと、隣接する栃木市に18Hの栃木ヶ丘ゴルフ倶楽部がある。3コースともメンバーシップ





婚活イベント「しかコン」の様子

例行事に関わる場所は数少ない。「認定後、22年9月には『しかコン』という婚活イベントを企画し、すでに4回開催しています。いわゆるゴルフコンではなく、ゴルフ場の営業終了後のレストランを利用して鹿沼市在住の独身者対象の婚活イベントです。鹿沼CCと鹿沼72カントリークラブでやっています。企画・告知・運営は当グループの若手スタッフが担当しています」

るので、もちろん、鹿沼グループとしても告知等はしますが、前述のように市関連の広報などの全面的な協力をもらえるので集客面は助かります。たとえば、こども…はチラシを作れば、市内の小学校で先生が生徒に配ってくれます。ピッツァ作りということ、40名限定にしていますが、4回ともすぐに集まりました」

鹿沼72CCで開催される花火大会の告知は市の「広報かめま」に掲載されている

第52回 鹿沼さつき祭り  
5月27日出～6月5日  
開催時間 午前9時～午後5時

●第1会場 鹿沼市花木センター  
●第2会場 JAがまかつ鹿沼花木センター

○心会「子どもによる空手演習」(第1会場)  
5月28日午前1時～1時30分  
○子どもによる空手演習(第1会場)  
5月28日午後1時～午後3時  
○親子つくり100円未満の学習会(第1会場)  
5月29日午前10時～午後3時  
○親子つくり100円未満の学習会(第1会場)  
5月29日午後10時～午後1時  
○親子つくり100円未満の学習会(第1会場)  
5月30日午前10時～午後3時  
○親子つくり100円未満の学習会(第1会場)  
5月30日午後10時～午後1時  
○親子つくり100円未満の学習会(第1会場)  
5月31日午前10時～午後3時  
○親子つくり100円未満の学習会(第1会場)  
5月31日午後10時～午後1時  
○親子つくり100円未満の学習会(第1会場)  
5月31日午後10時～午後1時

「鹿沼市制75周年記念 鹿沼さつき祭り 未来への花火」  
開催地 鹿沼72カントリークラブ 070-2111 観望台 063-2188  
鹿沼市役所 063-1111 鹿沼市立 063-2281

本物の木の家 鹿沼の木と暮らし入り  
5月27日見学会開催

と、亀和本部長。最初は女性が集まらずに苦労したというが、今はキャンセル待ちが出るほどで、4回で14組が成立した。このイベントは、後援する鹿沼市から鹿沼市出合いの場創造協働事業補助金という補助金も受けている。さらに、昨年2月から『こどもピッツァ作り体験』というイベントも開催している。「しかコンは市役所の子育て支援の部署に、こどもピッツァ作りは教育委員会に共催や後援してもらっている」

（亀和本部長）  
22年12月から鹿沼CCでは市からの提案でふるさと納税の自動販売機を設置し、現在ではグループ3コースすべてに設置している。ちなみに、鹿沼CC初年度の納税実績は2000万円とのこと。これだけ密接な関係を築くには、それなりの努力が必要だろう。その点について亀和本部長は、「最初は大変だったこともありましたが、今はもう打ち合わせも難しいことはないです」というが、担当責任者として、月に1回は必ず市役所に足を運ぶようにしているという。

### 自治体の視点 市と市内ゴルフ場の活性化を図る

岐阜県瑞浪市

「一年間を通じて恵まれた気候と、多くのゴルフ場の最寄りとなる瑞浪ICから最短5分という立地のよさもあり、県内や名古屋市エリア在住者を中心に、毎年多くのゴルフファンが訪れています。貸切コテージでの宿泊プランを提供するゴルフ場や、名物料理や自然素材にこだわったメニューをそろえたレストランが自慢のゴルフ場など、それぞれが異なる個性を備えているため、何度来ても新しい魅力を発見していただけると考えています。」

岐阜県瑞浪市  
市内最多となる13のゴルフ場を有し、「ゴルフの町みずなみ」を掲げる岐阜県瑞浪市。瑞浪商工会議所を中心に、市内のゴルフ場、市ゴルフ協会、市観光協会などの関係団体で構成する「ゴルフの町みずなみ実行委員会」が、瑞浪市からの交付金を受け、オープンゴルフ大会などの事業やスナッグゴルフ教室を実施し、市を挙げてゴルフの町みずなみをPRしている。

瑞浪商工会議所の中小企業相談所経営支援課課長で、ゴルフの町みずなみ実行委員会委員長の板垣廣光氏は、同市内のゴルフ場の特徴について、



「集客のための外回り営業と同じようなものだと思います。役所は比較的異動も多いですから、担当者との顔繋ぎは大事です。開催が近い関連部署には必ず行きますし、鹿沼市の場合、いちご市営業戦略課というマーケティングを含んだいろいろな取り組みを検討する部署があり、そこには必ず顔を出すようにしています。何より信頼関係をいかに作るか。そして、売上げだとか利益だとか、そうした話は極力避け、いかに参加者に楽しんでもらうか、開催の有意性を強調することですね。何かの提案でも儲けの話など絶対しません。もちろん、各イベントは赤字では続けられないので、収支は取っています。

太子カントリー倶楽部

行政担当者との円滑なコミュニケーションに加え  
地元企業・団体との連携も積極的に推進

太子カントリー倶楽部（18H・M）を経営する太子ゴルフ観光㈱は、2021年12月、同CCが所在する太子町と7分野にわたる包括連携協定を締結した。具体的には、①双方の事業のPR、②太子町の観光PR、③健康および福祉の増進、④教育、文

ただ、通常は使わない夜のイベントなどは施設の有効利用にもなりません」結果的に、市の広報に度々登場することで、ゴルフファンだけでなく、ゴルフをしない地元住民に対しても、自然と知名度が上がる。さらに亀和本部長は、  
「ゴルフ場はゴルフファンだけのものではない。将来を見据えたときに、地元の人たちの応援は非常に大切だ」という意識になっていきます。それは、直接担当する私だけでなく、数多くのイベントを通じて、携わるスタッフの多くにも浸透してきているように感じます」  
と、自治体連携の大きな意味を話してくれた。

同年7月に公民連携デスクを立ち上げ、地域の課題に積極的に取り組む民間企業と連携・協力の推進を始めていた。

そこで、両者が相互連携を図り、双方の資源を活かした事業に協働で取り進むことで、住民サービスの向上と地域の活性化を推進することを目的に、同協定を結んだとのことだ。

また、太子CCでは10年ほど前から、毎年町民のゴルフファンを対象に「太子町スポーツ大会」の際に貸し切りのゴルフ大会を開催していたが、同大会がコロナ禍で中止になったこともあり、それに代わる年齢に関係なく地域住民が楽しめるイベントを開催するようになった。その1つが、20年9月21日（祝・敬老の日）に、太子町観光・まちづくり協会の後援・協力を受け、初めて開催した入場無料の「太子カントリー倶楽部 Family Fun Family Day」だ。

同イベントは、子どもから大人まで楽しめる1日にしたいということから、10時から18時まで、ハウス内や駐車場などで、屋台・縁日を開催。16時半以降は、一部コースを開放して遊んだり、乗用カーに乗るなどのものだった。

毎年10月には、市内の全13ゴルフ場が参加する「ゴルフの町みずなみオープンゴルフ大会」（主催…ゴルフの町みずなみ実行委員会、協賛…瑞浪市）を開催している。ゴルフ産業の振興と瑞浪市内にあるゴルフ場の認知度向上を目的に、2011年から開始し、23年は10月27日に第13回大会が麗澤瑞浪GCで開催された。

同大会も瑞浪市の交付金を受けて運営されており、予選大会は8月1日～9月30日までの2カ月間、瑞浪市内の全13ゴルフ場で実施され、各ゴルフ場における「一般の部」（男性69歳まで）と「シニアレディースの部」（男性70歳以上および女性）の各部門上位者のみが決勝大会に進出。決勝の各部門優勝者には、瑞浪ポーノボークなど同市特産品の詰め合わせが進呈されたという。

「回を重ねるに連れ、ゴルフ愛好家の高い評価や、口コミにより認知度が向上しています。参加数も年々順調に増加し、大きな盛り上がりを見せています。県内外から、23年の第13回大会には計2682名がエントリーしました。ゴルフを目的に当市を訪れる人がさらに増えてくれることを期待しています」（板垣委員長）  
同委員会では、将来のゴルフ人口を増やそうと、ゴルフの初心者向けスポーツで、子どもも楽しめるスナックゴルフに注目し、18年度から、「スナックゴルフ体験会」を開催しているほか、21年11月には、瑞浪市内